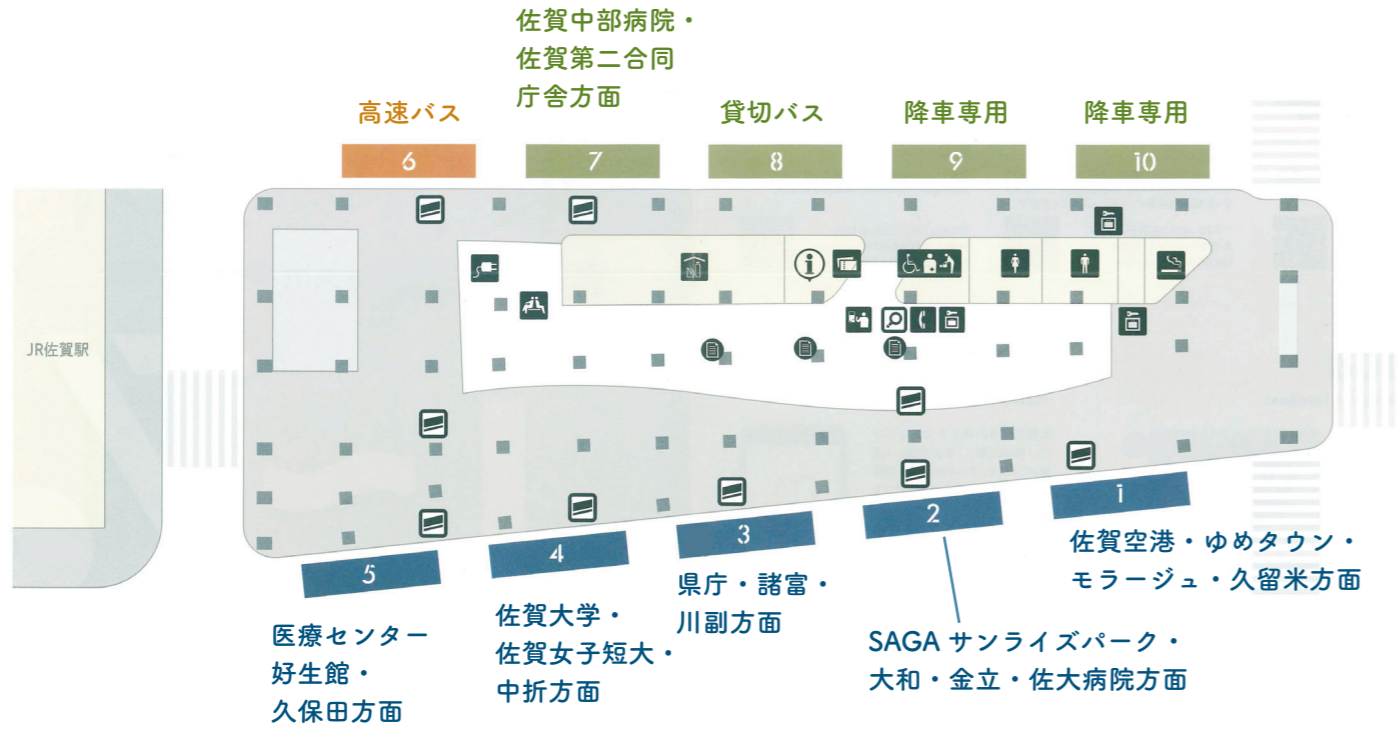




特集 佐賀駅 バスセンター再編



リニューアルを記念してテープカットする坂井英隆市長(中央)ら関係者

暮らしを支える路線バスの利便性を高めようと、佐賀市が10月1日、バス事業者と連携して佐賀駅バスセンターの乗り場を再編・リニューアルしました。バスセンターには4事業者が乗り入れ、これまでは事業者別の乗り場でしたが、行き先方面別の乗り場に一新。遅延を含めた運行情報をデジタルサイネージ（電子看板）に掲示するなど、利用者目線で使いやすさを追求しています。今回の特集では、再編の中身を伝えるとともに、お得なバス利用について考えてみました。

暮らしの中にバス利用を

国スポ・全障スポを見据えて

佐賀駅バスセンターは、佐賀県内で若楠国体が開かれた1976（昭和51）年に佐賀駅東側の鉄道高架下のスペースを生かして開業。文字通り市内外に向けた路線バス発着の拠点で、2004（平成16）年に待合室の刷新や、佐賀駅と結ぶ地下道の廃止などを行っています。なぜ、いま再編なのか。その中心的な役割を担っている市交通政策課の担当者に聞きました。

今回の再編は、2024年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けてSAGAサンライズパーク（佐賀市日の出）の整備が急ピッチで進められていることが、一つのきっかけになっています。中核施設となるSAGAアリーナは来年5月のオープン予定で、今後市内外からたくさんの方がお見えになります。こうした状況を踏まえ、市の玄関口であるバスセンターはできるだけ使いやすくすべきとの声が上がりました。当然ながら、市外の方に分かりやすい施設は、市民の皆さんにとっても分かりやすい施設になります。

再編の中心は、これまでの4事業者別の乗り場から行き先方面別の乗り場にしたことです。バスセンターには1番から7番まで乗り場がありますが、例えば、サンライズパーク方面に向かうバスはこれまで2番、7番から発車していました。隣同士ならまだしも、これでは厳しい部分があります。似たような状況は、さがみどりの森球場方面行きや、諸富方面行きなどほかの路線にもあり、事業者別で乗り場が違うことから、同じ方面行きのバスが同時に発車するケースもありました。今回はこうした部分を解消する運行ダイヤの改正にも努めています。

乗り場再編

今回の再編では、バス事業者別の乗り場から行き先方面別の乗り場に変更されています。これにより1カ所の乗り場で複数のバス路線を使うことが可能になり、目的地に一番早く発車するバスに乗ることができるようになりました。SAGAサンライズパークをはじめ、多くの人々が乗降するバス停へ向かうバス乗り場が集約されたため、市民にも観光客にも分かりやすくなっています。

行き先番号の導入

佐賀市営バス、西鉄バスに加え、これまで行き先番号を導入していなかった昭和バス、祐徳バスが新たに行き先番号を表示するようになりました。そのため、行き先番号を覚えるだけで、乗りたいバスを簡単に見分けられます。今後、新型コロナウイルス感染症が沈静化すれば、訪日外国人の増加が見込まれます。日本語が読めない外国人の皆さんや、地名（漢字）の読み方が分からない来訪者にも便利です。行き先番号を伝えることで、目的地への案内がスムーズにできます。

運転免許証を自主返納 バスが頼りに



9月まではパートの仕事をしていたので、ほぼ毎日バスのお世話になっていました。体の調子のこともあり、病院などに出掛ける時はバスが中心で、いまは週に2、3回乗っています。

2年前から活用し、頼りにしているのは「ワンコイン・シルバーパス」です。市が購入代金の大部分を補助してくれることに加え、どこまで乗っても降りる時に払うのは100円でいいので、とても助かっています。

今回のリニューアルで、各乗り場にデジタルサイネージが付きましたが、バス到着の目安になるので便利です。一方、サイネージの下にある時刻表は、もう少し字が大きいほうが助かるなど思っています。

体のこともあって運転免許証を自主返納することにしました。これから妻と佐賀北署に手続きに行くところです。これからさらにバスが頼りになります。(70代男性)



佐賀市民の皆さんは、今回の再編・リニューアルをどう受け止められているのでしょうか。日常生活でのバスの利用頻度や接し方、あったらいいなと思うサービスなどを含めて話を聞きました。

「200点満点」の 運転手さんも



買い物や病院通いなどで、週に4、5回はバスを利用しています。私だけではないと思いますが、ある運転手さんに感心しています。

その運転手さんは、運行ルートの説明など、いつも言葉遣いがとても丁寧です。降りる時も「ありがとうございます」といった雰囲気や言葉をかけ、接してくださいませ。ニコリと優しい笑顔で、私にとっては100点満点どころか200点満点の運転手さんです。もちろん、すべての運転手さんというわけではありませんが…。今回の再編では、各乗り場に電子看板が付いてよかったですと思っています。(70代女性)

あったらうれしい 「深夜バス」



以前、福岡・天神の事務所に勤務していました。福岡は言わずと知れた「バス王国」で、目の前に来たバスが何時何分発なのかは分かりませんが、はっきりなしに到着し、行き先番号を確認して飛び乗れば、目的地に問題なく行けました。バスが来る頻度に差はありますが、今回、行き先方面別にバスセンターの乗り場が再編されたのはいいことだと思います。

佐賀勤務になってからは社用車やマイカーが主体です。夜、飲み会があったら、代行運転やタクシーのお世話になっています。福岡時代、天神を深夜0時過ぎに出発する「深夜バス」というのがありました。自宅は天神から20分ぐらいの地域で、運賃は確か220円だったと思いますが、深夜バスの料金は2倍の440円。既に福岡でも廃止されており、運転手の確保や利用者数などの問題もあって、佐賀で実現するのは難しいと思いますが、あったら便利だろうと思う仕組みです。(50代男性)



「各乗り場サイネージ」。発車時刻などの運行情報が確認できる



全乗り場サイネージ・ 各乗り場サイネージ

佐賀駅と接するバスセンター西側と待合室の2カ所に、全乗り場（1〜7番乗り場）のバスの発車時刻や運行情報を知らせる「全乗り場サイネージ」を設置しています。県庁方面行きは、中央大通り経由と大財通り経由の二つがありますが、全乗り場サイネージをチェックすることで、自分が乗るべきバスがどれなのか判断することができます。

一方、1〜7番の乗り場それぞれには、各乗り場のバスの発車時刻や運行情報を知らせる「各乗り場サイネージ」があります。自分が乗りたいバスがどこまで近づいているか知ることができ、交通渋滞などで生じる遅延情報を表示することで、バス待ちの不安を解消します。いずれも英語表記を添え、外国人の皆さんにも分かりやすい表示になっています。

乗り場再編に合わせて、各バス事業者が運行ダイヤを改正しました。運行間隔を意識した設定になっています。これまでは、各バス事業者で乗り場が違うため、同じ時刻に同じ方面にバスが発車するケースもありました。こうした状況を踏まえ、市が間に入ってダイヤの調整を進め、バスが各方面にまんべんなく出発するように努めました。例えば、SAGAサンライズパーク方面の平日については、おおむね10〜15分に1本が目安になっています。

案内サインを一新

施設内の柱などを有効に活用し、利用者目線に立った乗り場案内に一新しました。分かりやすく乗り場に誘導するため、南側の乗り場をブルー、高速バス乗り場をオレンジ、北側の乗り場などをグリーンで表示しています。



案内サインを一新。高速バスの乗り場はオレンジ色で表示している

運賃検索システムを設置

「行きたいところがあるけど、最寄りのバス停が分からない」「運賃が分からない」「どこから乗ればいいのか分からない」といった利用者の声に応えるため、待合室中央の券売機の隣に、運賃検索システムを新たに設置しています。

目的のバス停名、行き先番号、行き先、乗り場番号、運賃、所要時間、バス事業者名をタッチパネルで簡単に検索できます。バス停名、施設名、地図の3種類が検索方法となります。



待合室には新たに運賃検索システムを設置している

乗れば乗るほど当選確率アップ!

3000nimoca ポイント プレゼントキャンペーン!

株式会社ニモカは、佐賀駅バスセンターリニューアル記念として「3000nimoca ポイント」を抽選で100人にプレゼントするキャンペーンを実施しています。4回乗車ごとに1口のエントリーとなり、乗れば乗るほど当選確率がアップします。

- 【対象期間】2022年10月1日～11月30日
 【対象バス会社】佐賀市営バス、昭和バス、祐徳バス、西鉄バス佐賀※高速バスは対象外
 【対象カード】スターnimoca、クレジットnimoca
 ※定期券利用は対象外
 【エントリー方法】
 ① LINEで「nimocaLINE公式アカウント」を友だち登録
 ② LINEトーク画面上より必要事項を入力し、登録・エントリー
 ③ 対象バス会社にnimocaを使って4回乗車（4回乗車ごとに1口のエントリー）

佐賀駅バスセンター
リニューアル記念





今回活用した路線マップと時刻表。バスセンターで入手できる



世界遺産の三重津海軍所跡。幕末佐賀藩の技術力の高さを学ぶことができる



最後に乗ったくぼた特産物直売所前ではバス停の看板が夕日に照らされた



滑走路に向かうANAの東京便 = 佐賀空港



佐賀空港からの帰りは「ロマンシング佐賀」のラッピングバスだった



見ごろを迎えたコスモスが気持ちよさそうに風に揺れていた = 金立いこいの広場

| 出発時刻 | 乗車位置 | のりば | 行先 | 乗車位置 | 10:10 |
|-------|------|-----|---|------|-------|
| 10:20 | 始発 | 1 | ゆめタウン佐賀 (佐賀えみね・夢咲コスモスタウン経由) | 市営 | |
| 10:20 | 始発 | 7 | 高瀬・久保東工業団地 (佐賀中部病院西・うさむら病院前・徳永 経由) | 市営 | |
| 10:20 | 始発 | 2 | サンライズパーク | 相模 | |
| 10:20 | 始発 | 5 | 伊豆山佐賀支店・佐賀商業高校 (サンライズパーク・長倉 経由) | 相模 | |
| 10:25 | 始発 | 4 | 藤島・船越神社 (船越・江北駅前 経由) 大野町・藤野町・佐賀センター前・藤井 | 相模 | |
| 10:25 | 始発 | 3 | 佐賀大学・西町 (大野町・長瀬元町・ブルースタジアム 経由) | 市営 | |
| 10:25 | 始発 | 2 | 広江・船越 (藤井町・藤野町・藤井町・川原支所 経由) | 市営 | |
| 10:25 | 始発 | 32 | 二添・金立公園 (佐賀北署前・城北団地・健康運動センター 経由) | 市営 | |
| 10:25 | 始発 | 6 | わかす号・福岡天神通バスターミナル (藤津基山 経由) | 西鉄 | |
| 10:28 | 始発 | 7 | 佐賀第二合同庁舎 | 西鉄 | |
| 10:30 | 始発 | 3 | 今宿・藤崎 (エスプラザ・東佐賀・高尾 経由) | 西鉄 | |



佐賀市営バスはお得な乗車券を販売していますが、その中に「全線フリー1日乗車券」(大人1000円、小学生以下500円)があります。1日でどれぐらい回れるのか。小旅行気分チャレンジしてみました。

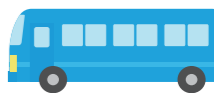


佐賀市営バスの全線フリー1日乗車券。観光やビジネスに活用できる

出発の前夜、バス路線マップを広げ、時刻表とにらめっこしながらどうすれば効率的に回れるかを考えました。路線はバスセンターを起点に放射状に延びています。自分は路線をほとんど把握できておらず、目的地に行ったらバスセンターに戻って再出発するほうが賢明だと思いました。そしてせっかくだと、最終目的地まで行って帰るなら市営バスで行ける東西南北すべての終点あたりのスポットまで行くことに決めました。

10月中旬の平日、5時前に起床。真っ暗な中、眠い目をこすりつつバスセンターに向かいました。最初の乗車は5時45分発の佐賀空港行きです。「これが全路線の始発かな」と思っていた選択

「全線フリー1日乗車券」で回れるだけ回ってみました



今回のバス乗り継ぎルート

- 05:45 バスセンター → 06:10 佐賀空港
- 09:20 佐賀空港 → 09:40 博物館前
- 10:08 サガテレビ前 → 10:17 バスセンター
- 10:45 バスセンター → 11:16 金立いこいの広場
- 12:01 金立いこいの広場 → 12:31 バスセンター
- 14:15 バスセンター → 14:47 佐野・三重津歴史館入口
- 16:03 佐野・三重津歴史館入口 → 16:35 県庁前
- 16:48 県庁前(お堀前) → 17:15 くぼた特産物直売所前
- 17:35 くぼた特産物直売所前 → 18:19 バスセンター

1日乗車券には市内11施設で利用できるお得なクーポンがついてきます。「佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館」には割引料金で入館できました。海軍所跡の歴史的価値や常民の功績を紹介する映像が秀逸で、展示物もじっくり見ることができました。

戻りのバスは16時3分発です。このままでは明るいうちに東西南北のすべてを回りきれないと思い、途中の県庁前で下車。300mほど離れたお堀前方面に向かいました。最後の目標は直売所「味らん館」です。30分ほど到着しましたが、残念ながら既に営業時間を終えていました。自販機でジュースを飲み、わずかな滞在で反対側のバス停からバスセンターへ。計9回の乗車で運賃4000円分以上の区間を回った計算です。

チャレンジを終えて改めて思ったのは、運転手さんをはじめ、バス事業に携わる皆さんは大変だなということです。計9回乗車しましたが、夕方の時間帯を除けば、遅れても数分程度。定時運行の努力に頭が下がります。あとバス路線の細やかさです。バス停の間隔は数百mから数kmぐらいでしょうか。利用者の目的も考慮してバス停が設置されており、例えば三重津海軍所跡まではバス停から500mでした。今回は急ぎょ行き先を決めた格好ですが、おいしいラーメンの食べ比べをすれば、より楽しめそうです。この日歩いたのは約1万5千歩。健康的な一日になりました。

出たが、唐津行きの昭和バスが先に出発しました。乗車したのは自分を含めて3人。バスは順調に進み、車窓から景色を眺めていると、東与賀町あたりで日が昇り始めました。車内では所要時間35分のアナウンスでしたが、予定よりかなり早く空港に到着しました。

当たり前なことではありますが、空港の路線は飛行機の発着時間に沿っており、バスセンターへの戻りは9時20分発です。ターミナルビルの展望デッキに上がり、東京行きの始発便に手を振り、新鮮な朝の空気をいっぱい吸い込みました。お店はまだ空いておらず、自販機コーナーでカップ麺を食べて小休止。その後は空港周辺を散策しました。スマホで県のウォーキングアプリSAGATOCOを確認すると、早くも8千歩近く歩いています。

空港発のバスは色鮮やかなキャラクターが描かれた「ロマンシング佐賀」のラッピングバスです。戻り途中、「少しなら大丈夫だろう」と途中下車。県立美術館で気になっていた小木曾誠展を鑑賞しました。

それからさっとバスセンターに戻り、10時45分発、久保東町の運転免許センター行きに乗車です。目的地は少し手前の金立公園。素晴らしい好天で、見ごろを迎えた赤、白、ピンクのコスモスが風に揺れ、大勢の家族連れやカップルが秋本番を満喫していました。写真撮影し、12時1分発の便で再びバスセンターに戻りました。

頑張りが過ぎても楽しくなければ意味がありません。昼食をとって長めに休憩し、14時15分発の早津江行きに乗車。目指すは世界遺産の三重津海軍所跡で

新小学1年生限定・無料体験パス

新1年生を対象に、入学前の期間限定で「無料体験パス」を発行しています。バス通学を始める前に乗り方に慣れ、バスへの興味や親しみを持ってもらうのが目的です。期間中は市営バス全路線を無料としています。配布期間は3月24日から入学式前日まで。利用期間は3月31日から入学式前日まで、佐賀駅バスセンターで配布します。保険証など年齢を証明できるものを持参ください。

高齢者ノリのりパス

更新期限前の運転免許証を自主返納した65歳以上の方を対象に無料で発行しています。市営バス全路線を半額運賃で利用できます。

乗り継ぎ割引

交通系ICカード「nimoca」を使って60分以内に同一バス停で乗り継いだ場合、一回乗り継ぐことに最大50円が割引になります。2回目以降の乗車運賃から割引されます。

ワンコイン・シルバーパス



65歳以上の方向けで、佐賀市以外の方も購入できます。有効期間内は乗車区間にかかわらず、1乗車につき100円(ワンコイン)で市営バスの全路線が利用できます。佐賀市に居住の70歳以上の方は、12カ月券(通常価格1万6,800円)の購入に対し、市から1万5,800円の助成が受けられるため、購入時の負担は1,000円となります。希望者にはICカードタイプの利用も始まっています。

指定区域内フリー1日乗車券

販売金額は大人350円、小学生以下180円。佐賀駅バスセンターを中心とし、160円運賃を適用する区域内の市営バス路線について1日中乗り降り自由になる乗車券です。

